



士別ロータリークラブ会報

創立1960・3・24 RI第2500地区

vol. 34 No.2382

■2011～2012年度RIテーマ：

こころの中を見つめよう、 博愛を広げるために

2011～2012年度RI会長 カルヤン・バネルジー



新日地域交流施設
「和が舎」

画/百瀬達夫

■2011～2012年度士別RCテーマ：

人と人を思いやる 心をもって前進しよう

■例会場/士別グランドホテル

■例会日/毎週月曜日 12:10～13:10

■事務所/士別グランドホテル TEL:(0165)23-1234

■会長/渡辺正一 ■副会長/藤吉敏博

■幹事/伊藤優市

今日のプログラム

第2464回例会 2012年4月16日(月)

■ 4月9日の記録 ■

- 司 会 高山 稔 会場監督
- 斉 唱 我等の生業
- 本日の出席 会員51名中 出席者35名 出席率68.63% 修正70.59%
- 本日の欠席 阿達 勇、今井 裕、加藤 博、北村浩史、國森和麿、黒田康敬、
興水広志、近藤峯世、汐川泰晴、鈴木 勉、田中 全、野 英俊、
細川博司、宮田喜久三郎、大野裕一郎

- メイクアップ
- ビジター
- ゲスト 士別市農民連盟執行委員長 沼館初男 様
- ニコニコBOX

累計279,000円

例 会 予 定

■4月の予定.....《ロータリー雑誌月間》

- 4月2日(月)/例会・理事会
- 4月9日(月)/例会
- 4月16日(月)/例会
- 4月23日(月)/夜間例会
- 4月30日(月)/休会(法定休日：昭和の日)

■5月の予定.....

- 5月7日(月)/例会、理事会
- 5月14日(月)/例会
- 5月21日(月)/例会
- 5月28日(月)/夜間例会

■会務報告……………渡辺正一会長

- 春嵐が終わりに近づいた矢先、今度は農家を苦しめる農業嵐、一体今年の地球はどうなっているのだろうか。

本日は紹介がありましたようにゲストとしてお忙しい中、土別農民連盟の執行委員長の沼館初男様に今問題になっています、T P P、日本の農政について時間の許す限りお聞かせ頂きたいと思えます。私の個人的な考えでは、T P Pは日本にとって何の得にもならないと感じています。参加を表明している輸出国韓国はプラスである。人間の生存に欠かせない物資は自由化すべきではない。農業生産性が低いからといって、潰す訳にはいかない。アメリカやフランスは膨大な補助金を出して守っています。日本は苦しんでいる農業に国が手助け(補助金)をしないと駄目になってしまう。政治は誰の為にあるのか。国民の為と口だけは誰でも云える。政治家は権力争いみたいな事で前にすすんで行かない。情けない。我々の声は国政に届かない。政治家でなく政治屋ではないでしょうか。

■幹事報告……………伊藤優市幹事

- 第22回日本ロータリー親睦ゴルフ北海道大会の案内が届いております。日時6月25日(月)、場所は小樽カントリー倶楽部、参加登録料15,000円、プレイ代15,000円程度です。参加希望の方は5月10日まで伊藤幹事までお申し出下さい。
- 紋別港ロータリークラブより創立40周年記念式典の案内が届いております。日時6月2日(出)、登録料10,000円です。記念講演の講師は藤川享胤様です。参加希望の方は4月30日まで伊藤幹事にお申し出下さい。
- 下川ロータリークラブ・美深ロータリークラブより例会案内並びに会報が届いております。資料台において有りますのでご観覧下さい。
- 会報の中で誕生祝と結婚祝が間違っています。渡辺会員、宮田会員、野会員は結婚祝です。ご訂正下さい。
- 4月12日午後5時30分より新旧クラブ協議会を開催致します。ご出席のほど宜しくお願い致します。

■ゲスト紹介

- プログラム委員会……………山本俊一委員長
本日のゲスト卓話は農民連盟の執行委員長であります沼館初男様です。宜しくお願い致します。

■卓話……………沼館初男様



日頃から私達の農民運動に対してご理解とご協力を頂いておりますことに、この場をお借り致しましてお礼を申し上げます。私達農民連盟の運動と言うのは毎年その年の

タイムリーな事項に従い、一年の運動の芯を決めてそれに従い運動をしています。今年はT P P参加阻止行動、これが第一の目標として今取り組んでおります。T P Pの話は去る2月5日の食のフォーラム、3月29日の土別総決起大会でも同じ話しをさせて頂きました。今日お話をさせて頂く機会を頂きましたことに心からお礼を申し上げます。

既に皆さんはT P Pについてはご存知かと思いますが、昨年11月に野田総理がT P Pについては十分な国民議論を経て結論を出し、あくまでも国益の視点に立ってというお話でした。しかし、皆さんいかがでしょうか。十分な国民議論というのはいかがでしょうか。今までのような国事前協議を行ってきました。その内容は一切明らかにされていません。表面だけの国益という名のもとに日本は突っ走っています。私達はT P Pというのは一体どういうことなのか。これを市民の皆さん、国民の皆さんが十分理解をした上で国民一体となって運動をしなければ、このまま押し切られるのではないかと不安を持っています。T P Pに参加した時に皆さんの生活にどういう影響をしてくるのか重大な問題を2、3取り上げてお話をさせて頂きます。

T P Pの参加国は4カ国(資料)でしてました。その後現在9カ国で協議をされています。実は農業だけが取りざたされていました。しかし交渉の中身は農業の他に工業、電気通信、金融、環境、労働等21項目、24分野に亘り協議がされることに

なっています。農業だけの問題ではなく全てに関連をしています。今日本のG G P (国民総生産額)の中で農業が占めてる割合は1.5%です。当初前原外務大臣は「1.5%を守るために残りの98.5%を犠牲にする事は出来ない。そしてT P Pに参加しなければ日本は世界から孤立をしてしまう。国益を失う」と言われました。他の分野でどうなっているのかというと、サービス業では20.8%、卸小売業では13.1%、これが日本の経済の中で大きなウエイトを占めています。決して農業の1.5%の為に他に犠牲になるということはデタラメです。参考までに日本の輸出産業はどうなっているのかというと、自動車、家電製品の輸出産業はわずかに1.65%なのです。輸出業の全体を見ても11.5%で日本は輸出国ではなく内需国だと言えます。T P Pに参加をした場合、日本の法律が日本人を守れなくなるということです。日本の国民を守るためにいろいろな法律や規制、それによって私達は守られています。そのことを非関税そうへきと言います。輸出国にとっては一番邪魔なものなんです。決まりごと、法律、規制が邪魔になっているんです。今回のT P Pで邪魔なものを全て排除するという要求が出ています。この要求をきかないとT P Pの裁判にかけられ、他の9カ国がそれはダメよと言われた場合、嫌でもきかなければならなくなる。日本人を守っている法律や決まりごとが他の国によって全て変えられるということなんです。今W T Oがなかなか決裂しているということで、F T A、E P Aが二国間協定というのをやっています。お互いに二国間で自分の国の守りたい部分は例外扱いとして話し合いですからそれで決まります。T P Pというのは例外は一切認められない。日本で守りたくても一切認められません。全ての国が了承しないと認められないというのが、T P Pの恐ろしさなんです。

皆さん方に一番密接のある食糧問題を考えみます。4つの問題があり、1つ目は残留農薬を始めとする食料の安全基準の見直し要求。国内では厚生省の厳しい基準で生産をしています。この農産物はどこの誰がどういう方法でいつ生産したのか全て記帳する。生産記帳といいますが、誰が生産したのか全て解かる様になっていますし、農薬も肥料もどんな物を使ったか解かる様になっています。

残留農薬も0.01PPmという非常に厳しい水準ですがそれを超えると市場から隔離されるという仕組みになっています。この基準を緩和しなさいといっています。根拠は国際基準というのがあり、国際基準並みにしなさい。日本の基準とどれだけ違いかというと、日本基準の約10倍、それにしなさいと要求が出されています。2つ目はポストハーベストの問題。農産物を生産した後に消費者に届くまでの間に使う農薬のことを言います。国内では1、2日くらいで流通出来ますからそんな必要は無いんですが、輸入される農産物は船で1ヶ月もかかって運ばれてくるものについては、生のままでは持ちません。船の中で防腐剤や害虫の為に農薬を防毒マスクを付けて上から掛けます。非常に恐ろしい光景です。日本では厳しく規制をしています。これを緩和しなさいと要求が出されています。3つ目は遺伝子組換え食品の表示義務の撤廃。日本では遺伝子組換え食品を認めていませんし、これを使った食品については必ず表示しなさいと義務付けになっています。スーパーで買い物すると裏に原材料や原産地等書いてあります。特に多いのがとうもろこし、大豆です。盛んに遺伝子組換えで栽培をされています。表示義務を無くしなさいという要求が出ています。もしこれが無くなると、どの食品に遺伝子組換え食品が入っているのかわからないで食べる事になります。実験データを見ても猿のように人間の3倍も早く後身します。それで実験をすると3代目には必ず奇形児が生まれるという実験データも出ています。4つ目にB S Eの問題です。ここ何年かはB S Eは発生していません。何故かということでは輸入牛肉に対して20ヶ月令未満しか輸入はしません。それも全て前頭検査をしなさいという規制になっています。これを今アメリカは20ヶ月ではなく30ヶ月にしなさいと要求してきています。30ヶ月となると殆どの牛が該当します。これまで規制を緩和しなさいという要求が出ています。今申し上げた食料の問題を考えただけでも非常に恐ろしいことでもありますし、もう1つ心配なことは日本で規制を緩和することによって、全くT P Pに関係のない今一番危険だとされている中国野菜、これも緩和された中で輸入される訳ですから、今でさえ危険な状態なのももっと危険な農産物が一緒に

なって入ってくるということになります。食については私達も消費者ですから危険な状況を迎えることになります。それから医療の問題があります。私達は国民皆保険制度によって守られています。私達は国保ですから国保税を納めます。社会保険の方は社会保険料の中で医療保険分を納めています。お医者さんにかかる国保は3割負担で済みますし、社会保険の場合は1割負担です。一般国民全て平等に医療を受けられる仕組みになっていますが、国民皆保険制度を無くしなさいと言ってきています。アメリカから自由に保険会社も出入りが出来るようになる。そうすると保険制度が無くなることによって、例えば虫歯1本治すと10万円だとか全額負担になりますから、盲腸の手術をしたら200万円だとか高額な医療費が掛かることになって、そこに目を付けているのがアメリカの保険会社なんです。日本に進出をして膨大な利益を得ようとしている。医療の問題も恐ろしい問題が発生しますし、日本の医師会が私達よりもいち早くTPPに危機感を持って反対行動をしています。こんなに危険なTPPなのにどうして参加をしたいのか、野田総理は前のめりになっているのか、これは日本がアメリカに対して普天間基地等で弱みを握られているということもありますが、一番の原因は野田総理を強く後押しをしている人がいます。誰かという日本経済団体連合会の会長です。今の会長は住友化学の米倉会長なんです。今回のTPPで一番利益を得るだろうとしているこの経団連これが後押ししており、農業や他の部分で多少犠牲になっても日本の全体の国益を考えたら、工業の発展の方が上を行くんだ。その差額は微々たるものだということで、後押しをしております。大企業はどうして儲かるかというと、安い労働者を外国からどんどん使うことが出来る。高い日本人の労働者は首を切る。部品等関税がなくなり安く仕入れる事が出来る。当然利益は出ます。もう1つは外国に自由に進出することが出来る。両方で儲けることが出来る。大企業にとってはおいしい話なのかもしれません。その事によって日本人の失業者はどうなるのか。農水省で今試算をしている数字は340万人を超えるだろうと試算しています。特に北海道をみると第1次産業が基幹産業ですから、もし農業が無くなった時に農

業の人口だけではないんです。それに関連する肥料、農薬、資材、運送会社、市場、農協など関連産業が全て無くなる訳です。北海道にとっては単なる食糧問題と言いますが、北海道全体の大きな問題になるということです。皆さん方も今大企業に就職されていてもいつ首を切られるかわからない。外国の安い労働者が入る事によって、日本の高い労働者はいらなくなる訳ですから、これは単なる農業だけの問題ではないということです。今の状況ですが日本は予定されている9カ国との事前協議全て終えました。その中身にみるとどこの国をとっても日本がいう例外扱いが認められないという状況です。しかし政府は一切公表していません。日本は国家機密ということで進めています。相手の国は全て報道されています。皆さん方はそれをご覧になる機会がないかと思いますが、私達は資料をみる機会があるので全部解かるんですが、どこの国を見ても日本に有利な材料は1つありません。アメリカが1番9カ国の中で主導権を握っていますが、アメリカ国内でさえ今二分されています。日本が参加することに賛成をするところと反対をするところ。賛成するのはどこかという、食品業界、食品輸出連合、豚肉生産協会等です。反対は自動車政策会議、鉄工協会です。日本の工業技術は世界で有数ですから日本に工業の部分では太刀打ち出来ないんです。アメリカの工業界にとっては日本に入って欲しくない。自動車業界も日本が参加するのであればアメリカ車を最低何台は輸入しなさいという約束を取り付けると言っています。アメリカの中でも賛否両論をしています。TPPというのは日本とアメリカがGOSサインを出しても他の国が良いと言わなければ入れない訳ですから、全ての国が納得してそして初めて参加が出来るということで、実際に参加するのは難しいのかという状況になってきていますが、日本がどんな状況で丸め込まれて引きずり込まれるのかと、非常に予断の許さない状況です。今野田総理は5月にもアメリカとの交渉をするということになっていますので、注目をしていきたいと考えています。皆さんにこのことを理解して頂いて、このTPPを絶対阻止するまで頑張りたいと思いますので、ご理解とご協力を頂き皆さんで阻止をしていきたいとお願い申し上げます。

■委員会報告

- 社会奉仕委員会……………坂口芳一委員長
明日4月10日は「交通事故死ゼロを目指す日」としまして、午後1時20分、元市民生協の駐車場に集合で、人の波、旗の波作戦を実施されますので、是非出来るだけ大勢の会員の皆様にご出席を宜しくお願いします。

■その他報告

- ゴルフ同好会……………近井会員
5月12日に最初の同好会のスタートということで、名寄クラブとの対抗戦を行いたいと思います。5月12日午後1時スタートの予定です。多くの参加を宜しくお願い致します。その他に6月、7月、8月、9月、最後10月まで行う予定でおりますが、7月は7日の予定なのですが、ふれあい広場と重なりましたので、変更をしたいと思っております。今年始める方も去年から始められた方も参加のほう宜しくお願い致します。

谷会員

皆様にご心配をお掛けしておりました母の病状なんです、3月の末にボヌール士別に入所が叶い、暫くの間在宅復帰を目指してリハビリに専念することになりました。年齢的にも可愛そうなところがあって、明日で60歳なんです、入って何日間かはショボンとしていたんですが、ようやく1週間たって本人も元気になってリハビリを頑張っています。とにかく私はリハビリ重視で頑張りたいということを願ってお話し納得してもらっています。お陰様で士別のボヌールのリハビリのスタッフの方がとても熱心にして下さっているので、私が思っている以上にボヌールに移ってから起きる作業など、今までは重たくて起こせなかったのですが、ちょっと力で起こせたり、本人も立つ力もついてきているようで、嬉しく思っているところです。今回泣いたり、考えたりいろんな経験をしたんですが、このことを園の教育にしっかり活かしていきたいと思っていますし、また皆さんに支えられながらロータリーでも頑張りたいと思いますので、今後とも宜しくお願い致します。